



国際ロータリー 第2620地区 2023-2024 年度ガバナー

中村 皇積

2023/11 Governor's Monthly Letter

— Create 18,690 Hope

「奉仕と友情の半世紀」をテーマに開催した 2023 年地区大会。1600 人を超えるロータリー会員、ファミリーに参加を賜りました。心より御礼を申し上げます。この大会テーマは、山梨・静岡両県からなる現在の地区構成から 50 年の節目にあやかったものです。今日、私たちがこうしてロータリー活動ができるのは、先人たちのご献身の賜物に他なりません。これまでに感謝するとともに、これからを誓い合う機会になればとホストクラブを中心に精一杯の運営をさせていただきました。



また、今大会は、ゴードン R. マッキナリー会長が強調される【継続】の重要性を確認する場にすべく、私たちが得意として来たことを幾つか強調いたしました。

中でも最後の正念場といえるポリオ根絶では、大きな成果と願いを共有できました。本年度、地区統一行動として呼びかけました古着 de ワクチンキャンペーンでは、ロータリークラブ、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、学友から寄せられた古着。なんと 18,690 人分の希望（ワクチン）を生み出しました。

特別展示させていただいた「鉄の肺」をジッと見つめる会員様の姿も見られました。私は、地区大会後に日本ワクチン学会・日本臨床ウイルス学会の合同集会にて「ポリオ根絶に向けたロータリーの活動」についてお話をさせていただく機会に恵まれ、その際、鉄の肺に入る体験もいたしました。

“歴史をつくるカウントダウン”は文字通り“あと少し”です。私たちはこの行動に胸を張り、ともに夢を叶えようではありませんか。

— 公式訪問を終えて —

7 月 3 日静岡 R C を皮切りに始まった公式訪問は、10 月 25 日浜松ハーモニー R C をもって無事終えることができました。熱心に耳を傾けてくださる姿、熱い眼差しに「報い」を感じた 3 ヶ月となりました。どのクラブも希望を生み出すアプローチに取り組んでいます。ともに考え、世界に希望を生み出しましょう。

地区幹事のつぶやき

79 クラブへの公式訪問が終了しました。フェイスブックでは公式訪問の様子を掲載しておりますのでぜひご覧下さい。（フェイスブックへは地区のホームページからも入ることができます）

地区幹事 影山忠弘



ハッシュタグキャンペーン 第一四半期集計報告

X(旧Twitter)	2023年7月	2023年8月	2023年9月	累計
清水中央	5	5	0	10
合計	5	5	0	10

Facebook	2023年7月	2023年8月	2023年9月	累計
清水中央	3	2	0	5
甲府西	4	1	3	8
沼津北	2	0	0	2
都留	2	4	3	9
浜名湖	1	0	1	2
富士吉田	1	1	0	2
合計	13	8	7	28

Instagram	2023年7月	2023年8月	2023年9月	累計
浜松西	8	6	7	21
甲府南	5	8	3	16
藤枝南	2	0	0	2
浜松ハーモニー	3	0	1	4
御殿場	0	3	1	4
合計	18	17	12	47

総合計	2023年7月	2023年8月	2023年9月	累計
清水中央	8	7	0	15
甲府西	4	1	3	8
沼津北	2	0	0	2
都留	2	4	3	9
浜名湖	1	0	1	2
富士吉田	1	1	0	2
浜松西	8	6	7	21
甲府南	5	8	3	16
藤枝南	2	0	0	2
浜松ハーモニー	3	0	1	4
御殿場	0	3	1	4
総合計	36	30	19	85

一部投稿紹介

沼津北 RC

梅雨の中休み、清々しい晴天の今日、7月4日。いよいよ馬場会長の新年度が始まりました。第3014回例会は、新会長、新副会長、新幹事の新年度の抱負です。皆様の意気込みを感じました！

また、新年度初回の例会に新たな仲間を迎えることが出来ました。スタートからワクワクが止まりません！

コロナ明けの活発な活動がいよいよ始まります！

#ri2620 #ri2620 沼津北 #ri2620 沼津北ロータリー #ri2620 エンドポリオ

甲府西 RC

9月24日(日)に、山梨第2グループ合同奉仕事業として、児童養護施設の子もたちと富士山の大自然に触れ、河口湖の清掃活動を行なって参りました。当日はみんなでバスに乗って、第2グループのみなさまと児童養護施設4施設の子もたちと一緒に河口湖の清掃活動に汗を流しました。昼食後は、富士山世界遺産センターで富士山の世界遺産としての価値をみんなで学習する時間を過ごしました。

天気に恵まれ、気持ちの良い時間を過ごすことができ、多くのロータリアンや施設の方々とコミュニケーションがとれました。

普段の例会ではホテルなどの施設内で過ごすことが多いので、屋外で自然を感じながらの活動は新鮮でした。

ご参加のみなさま、お疲れ様でした！ #ri2620



ロータリー塾（出会いの広場）開催のご案内

日時 11月23日（祝日・木曜日）13時30分受付
 場所 山梨県立県民文化ホール（通称 YCC 県民文化ホール）
 対象者 入会3年～5年未満 地区内メンバー
 内容 テーマ ①ロータリーライフの楽しみ方
 ②職業的成長について
 ③ロータリーの理念や用語
 登録料 セミナー 1,0000円 懇親会 5,000円



国際ロータリー第2620地区会員数（2023年9月時点）

	期首会員数	前月末会員数	当月末会員数	当月増	当月減	通算増	通算減	女性会員数
74クラブ	2820	2880	2893	19	6	92	19	254

米山記念奨学生期間終了式報告

ここかしこに秋の気配を感じる中、9月10日、米山梅吉記念館にて米山記念奨学生期間終了式が行われました。

中村皇積ガバナーの点鐘、挨拶に始まり米山記念奨学会 高野孫左工門理事並びに松村友吉アドバイザーより期間途中の奨学生には激励のことばを、また期間終了する奨学生に向けては、はなむけの言葉を頂戴しました。

その後、中村皇積ガバナーより4名の期間終了生に終了証とそれぞれのカウンセラーに感謝状が贈呈され、世話クラブカウンセラーを代表して堀内満喜子カウンセラー（三島 RC）から奨学生ヴィティゴックチンさんとの心温まる数々のエピソードをお話いただきました。

続いて終了証を手にした4名の奨学生から最後のスピーチがありました。

静岡大学大学院に進学し、半年間のクラブ支援を受けたスミルナウィラワンティパタンドウングさん（富士 RC）。早稲田大学大学院の進学し、さらに半年間の支援を受けたヴィティゴックチンさん（三島 RC）。静岡大学の4年生のゲンカオキさん（浜松中 RC）は東京のIT企業に就職が決定。浜松医科大学の張恒森（チョウコウシン 浜松南 RC）さんは大学職員としての採用が決まりました。それぞれカウンセラーや所属クラブへ感謝の気持ちとロータリーで培った奉仕の精神を流暢な日本語で表し、感極まる場面もありました。

その後、学友会の李重楼（リジュウロウ）副会長から、今後は学友会の会員としてロータリアンに囲まれながら、さらに自分を磨いて欲しいという激励を受けました。

奨学期間が半年経過した奨学生からはそれぞれ近況報告があり、最後に「手にてつないで」を全員で高らかに合唱して期間終了生の今後の活躍にエールを送り閉会となりました。

■ 米山奨学委員 鈴木龍子

「カウンセラーからの言葉」

皆さんこんにちは。

今日は、期間終了式を迎えられた4名の奨学生に心からお喜び申し上げます。

私はチンさんの世話クラブ三島 RC カウンセラーの堀内満喜子と申します。

チンさんと初めてお会いしてから、早いもので1年半が経ちました。最初の緊張した様子がまるでうそのように、いつもニコニコ顔のチンちゃんでした。1年半、クラブの例会に皆出席をしていただけました。

クラブの例会はもちろん、家族例会やお花見例会にも、積極的に参加してくれて、会員だけではなくご家族の皆様とも楽しく交流を深めることができ、例会では見られない素顔のチンちゃんを感じることができました。

また、日本語の敬語や謙譲語の使い方などを、もっとしっかり勉強したい、と常に前向きに学ぶ姿勢が素晴らしく、一度聞いたら忘れないとても優秀なチンちゃんです。お返しにチンちゃんがベトナム語を教えてくださいましたが、とても難しく私は全部忘れてしまいました…。

そんなチンちゃんですが、大学院への進学を悩んだ時期がありました。ベトナムでは、女性が大学院に進学することは就職することが困難になる、という難しい問題でした。そこで、チンちゃんと少しでも歳の近い私の娘とも話し合いをしてもらったのちに、本人から進学を決意した報告がありました。

そう決意したチンちゃんは、猛勉強に取り組み見事合格することができました。その時、涙が出るほど嬉しかったことは今でも鮮明に覚えています。それというのは、入試のために私が推薦書を書かせていただいたので、もし万が一のことがあれば私の責任も重大でした。チンちゃんの人生の新たな第1歩を踏み出すことの一助となれて、安堵と喜びで胸がいっぱいになりました。

晴れて、早稲田大学大学院に4月から通いはじめましたチンちゃんは、勉強が楽しくて楽しくてたまらないと言っています。

こんなに勉強が楽しいと思っている日本人の学生はいのでしょうか？

チンちゃんは、ベトナムの山間部の少数民族と都市部での教育格差をなくすため、日本で学んだことを母国に持ち帰り、教育格差をなくすための仕事に就きたいと考えているそうです。

カウンセラーには終わりが無いと思っていますので、これからも見守ってたいと思っています。

先日も、柿田川の清掃活動に参加し、学友会の方達と奉仕の汗を流しました。終わった後、すごく楽しい時間でした！と眩しい笑顔のチンちゃんをみて、この一年半、共にしてきた時間を通して、しっかりとロータリーの奉仕の心を学んでくれたのだと実感することができました。

チンちゃんとの一年半は学びの多い日々でした。チンちゃんから教わることも多く、気づきもたくさんありました。カウンセラーをさせていただき感謝しています。

米山記念奨学委員会の委員長はじめ、委員の皆様のおかげで、無事終了式を迎えることができました。皆様、ほんとうにありがとうございました。今日の終了式は、始まりの一步だと思っています。これから、本当の意味でのお付き合いの始まりです。

今後もずっとチンちゃんのカウンセラーでいるつもりです。これからも、クラブに遊びに来てくださいね！

そして、奨学期間を終了した皆さんは米山学友会に参加して親睦を深め、国際親善・世界平和に活躍していただけることそして、日本との懸け橋になってくれる事を心から期待しています。

■ カウンセラー 堀内 満喜子

米山記念奨学生期間終了式報告 2

皆様、こんにちは、浜松南ロータリークラブの米山記念奨学生張恒森と申します。

2022年4月、私は幸運に米山記念奨学生になり、浜松南ロータリークラブに入りました。私の博士課程が終了するにつれ、米山記念奨学生としての期間も終了しました。今日ここに立ち、米山記念奨学生としての経歴を振り返り、深く感謝の念にかられています。この時期は、私にとって学びの経験だけでなく、挑戦と成長に満ちた旅でした。ますます高い学業を追求し、研究分野に専念し、印象的で意義深いさまざまな活動に参加する機会を得ることができたのは、米山記念奨学金の支援のおかげです。米山記念奨学金は、私個人の認めだけでなく、将来への励みでもあり、この名誉と責任を常に大切にしています。

ここで、私のカウンセラーである金子様と、浜松南ロータリークラブのロータリアンに感謝の意を表したいと思います。例会やさまざまな活動に参加するたびに、彼らとのコミュニケーションを通じ、日本の文化をより深く理解する機会を得ました。金子様は、私が人生に迷いや困難を感じたときに、いつも導いてくださり、助けてくれました。浜松南ロータリークラブのロータリアンと過ごす時間は、「ロータリーは奉仕する団体ではなく、奉仕を熱愛する人々の集まりである」という言葉の意味を実感させてくれました。私は、今後も連絡を保ち、より良い未来を共に築いていくと信じています。

最後に、私の指導教授である瀬藤先生に感謝の意を表したいと思います。日本で学びの機会を与えてくださり、貴重な知識とスキルを習得し、博士課程を成功裡に終えることができました。瀬藤先生の指導は、私の学術的なキャリアだけでなく、人生観にも影響を与えました。私は、皆さんに積極的な貢献を続けていく決意です。

改めて、このような思い出深い時間を過ごせたのも、皆様のお付き合いとサポートのおかげと本当にありがとうございました。未来に向け、米山記念学友として皆様と手を取り合って歩んでいきたいと思っています。ありがとうございました。

■ 張 恒 森

皆様、こんにちは。米山記念奨学生のスミルナ・ウィラワンティ・パタンドゥングです。

現在、静岡大学大学院人文社会科学部経済専攻の一年生です。

本日、ついに終了式の日が訪れました。いま思い返してみると、米山奨学生として過ごした2年半間はあっという間でした。ロータリー米山奨学金に申し込んだ2年半前、合格する自信が持てず、不安に襲われる日々が続きました。しかし、合格の通知が届いた瞬間、私の心は喜びに包まれ、その瞬間の感情は今でも鮮明に思い出します。

米山奨学生としての2年半間は、私にとって非常に貴重で有意義な経験でした。毎月毎週開催される例会で卓話を通して様々な分野から知識を得ることができました。異なる国や背景を持つ人々との交流を通じて、コミュニケーション能力や異文化理解を向上させることができました。

そして、ロータリーで最も大切なことのひとつを学んだのは「奉仕の精神」です。奉仕の精神は、自分自身を超えて他人を支えることの重要性を示しています。ロータリーは地域社会や国際社会に貢献する機会を提供し、私たちはその中で成長しました。奉仕活動を通じて、自己満足から抜け出し、他人のために何ができるかを考えるようになりました。また、印象的だったのは、ロータリー四つのテストです。「言葉・行動・思想」が「真実か」「公平か」「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるかどうか」という四つのテストで、私は実に、務めていたインドネシア学生集まりのリーダーとして、常にこのテストを配慮しました。

米山奨学金のご支援のおかげで、学業に専念できました。奨学金のご支援を受ける前は、アルバイトをしながら大学に通っていましたが、このままの生活では卒業までたどり着けるかどうか非常に不安でした。特に、その途中で、私たちと世界全体を襲ったコロナ禍がありました。病氣、隔離、リモート学習の挑戦が私たちの前に立ちちはだかりました。コロナ禍の影響が大きかった時期でありましたが、その時の私を救ったのは米山奨学金でした。言葉では表現しきれないくらい感謝の気持ちでいっぱいです。

また、お世話になっている富士ロータリークラブの皆さんは本当に優しい方々ばかりです。毎週の例会で食事をしながら自分自身に対するアドバイスをいつも頂き、一週間のできごとなど様々な話をした時間は最高の思い出です。普段の例会以外にも、カラオケ、さくらんぼ狩り、バンド演奏、ビアガーデンなど、楽しい時間を過ごすことができました。本当にロータリーは私の第二の家族でかけがえのない人たちです。最後になりましたが、これまで温かく見守ってくださった米山将学会の皆様、カウンセラーと世話クラブの皆様、学友会の皆様、そして一緒に頑張っている奨学生の皆さん、本当にありがとうございました。今後も引き続き努力し、母国と日本、そして世界に貢献できる人材になるよう精一杯頑張っていきます。今後も大きな壁にぶつかったとしても、ロータリーで得た多くの思い出、学び、誇りを人生の糧とし、力強く生きていきます。

■ スミルナ ウィラワンティ パタンドゥング

みなさん、こんにちは。米山奨学生のゲンカオキです。現在、静岡大学工学部機械工学科に所属しています。

いよいよ、米山奨学生の終了日になりましたが、私は、この幸せな時間が本当に終了したくありません。一年間半、奨学生になって、様々な分野の人々と出会うことで、異なる背景や文化について学ぶことができ、自分自身の視野を広げることができました。学友会の色んな活動を通じて、ロータリーの精神をより深く理解することができました。これらは米山奨学生にしかない大切な宝物です。この宝を今後にも大事に扱っていきます。

また、経済的なご支援のおかげで、研究や資格取得のための勉学に多くの時間を費やすことができ、心から感謝の気持ちでいっぱいです。

浜松中 RC にお世話になったこの一年間半は、私にとって、日本で過ごした最も幸せな時間です。最初に色んなことが分からなかったが、みなさんが優しく指導して、教えてもらいました。

特に、私のカウンセラー鬼頭秀行さんに感謝申し上げます。世話クラブの例会が終るたびに、いつも駅まで送ってくれて、困ったことがあったら、お金よりも大切なアドバイスを上げました。いつも優しく、いろんなことを面倒いただき、日本の父親みたいな感じだと思います。本当にお世話になりました。

今日からは、奨学生として終了しましたが、学友として、色んなイベントがあったら、積極的に参加したいと思っています。

来週から静岡大学を卒業して、東京にある IT 企業に就職します。奨学生期間が終了としても、今まで浜松中 RC、そして、学友会メンバーの一員だったことを絶対に忘れません。これからも、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

■ ゲン カオ キ

米山記念奨学生期間終了式報告 3

ヴィ ティ ゴック チンと申します。三島ロータリクラブに所属しております。

去年の4月からロータリー米山記念奨学生として、ご支援を受けた1年半があつという間に過ぎました。今まで大変お世話になり、本当にありがとうございました。本日、この一年半奨学生として得たことについてお話しさせていただきたいと思います。

まず、奨学金のご支援のおかげで、学業に専念することができました。経済的な面で心配することなく安心して自分の目標に向かって進むことができました。奨学金を受けることのみならずロータリアンの方々と交流を通じてロータリー精神やロータリアンの経験、考えを学ぶことができました。また、ロータリアンと交流する時に日本語で会話する機会が増え、目上の方に対してどのような言葉を使うべきかを考えて調べました。これらの経験によって自分の考え方が変わり、コミュニケーション力を身につけることができました。

まだ学生である私は世話クラブのロータリアンの方々の前で毎回自分の学業や学生生活についてお話しさせていただきました。いつも私の話を聞いていただき、さらに、「頑張ってるね」「チンさんならできる」などの励ましの言葉をいただいて自信が湧いてきました。頑張っている自分を認めてもらえることは、非常に嬉しかったです。

今まで例会だけでなく家族例会や旅行にも参加させていただき、ロータリアンやご家族の方々と交流を通して、温かい心に包まれてとても幸せな時間でした。また、諏訪大社や花見など、様々な場所を訪れて、日本の風景をただでなく、歴史を学び、文化に触れることができました。例えば、去年、諏訪大社に行った時、参拝方法を学び、初めて日本の伝統的な結婚式や七五三の行事を実際に見ることができました。このような伝統的な文化はベトナムにはありません。母国と違う文化に触れて、違いを認識できるようになって自分の視野が広がりました。日本の文化、習慣を学ぶ機会をたくさん与えてくださって、心から感謝しております。

この一年半、ロータリアンの方々とうまく交流することができたのは自分のカウンセラーである堀内さんのおかげです。最初は知識や経験が豊富なロータリアンの方々と交流できるかと心配でしたが、堀内さんから様々なサポートをいただき、安心して自信を持つようになってクラブの例会に出席することができました。また堀内さんは私とクラブの方々と交流ができるよう、家族例会や旅行などに積極的に参加できるようにしていただき、そのおかげで、多くの素敵な経験ができました。自分のカウンセラーになってくださって、本当にありがとうございます。

今まで得たこと全てが自分の成長に繋がりました。ロータリアンの皆様のおかげで有意義な留学生活を送ることができました。言葉で自分の感謝気持ちをうまく伝えられていないかもしれませんが、ロータリアンから頂いたことやものを、全て覚えています。ご支援をいただき、そしてロータリアンの皆様と出会うことで自分の考え方や価値観が変わりました。自分の成長も感じる事ができました。人生の意味、どのように生きるべきか考える時間も増えました。私は今、毎日、感謝の気持ちを抱いて過ごしています。

奨学期間は今月で終了しますが、堀内さんは「終わりにしないでこのままずっと繋がってほしい」と仰ってくださいました。私も奨学期間が終了してもロータリアンの皆様との繋がりを続けさせていただきたいです。

これからもロータリー米山記念奨学生としての義務を忘れません。将来、日本とベトナムの架け橋となることを目指して奨学生としての義務を果たしたいです。日本で学んだことや日本文化、習慣、マナーなどを母国の人々に伝えることで、両国の関係の発展に貢献したいと考えています。目標を実現するために毎日勉強に励んでいます。知識や能力や経験などを身につけて、将来ロータリアンのように社会に貢献できる人になって活躍することでロータリアンの皆様の恩恵を返していきたいです。

最後になりましたが、ご支援をいただきましたロータリアンの皆様に心から感謝申し上げます。

■ ヴィ ティ ゴック チン

